

蚊の用心。ひと刺し用心デング熱。



かゆいだけではありません!

デング熱の原因となるデングウイルスは、デング熱に感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。

感染してもすべての人に症状がでるわけではありませんが、高熱や関節の痛み、目の奥が痛くなるといった症状が一週間から二週間ほど続きます。

冬になると蚊が減ることからデング熱の発生も収まりますが、翌年また流行することもあるので、いつでも蚊に刺されないように注意する、そんな習慣を身につけることが大切です。

デング熱は人から人へは感染しません。

「ヒトスジシマカ」

背中に一本の白い線とW字状の模様がある四五ミリほどの蚊で、五月中旬から十月下旬ころまで活動します。雑木林や竹林などで繁殖し、最近では藪・墓地・公園などでも見られるようになりました。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は五〇〜一〇〇メートル程度です。

